資料２

第２回部会資料

流山市

こどもの権利に関する
アンケート調査結果

（小学４年生～高校３年生）

目　次

Ⅰ　調査概要 3
１　調査の目的 3
２　調査の対象者・期間・方法・回答状況 3
３　報告書の見方 3
Ⅱ　アンケート調査結果 4
１　回答者の属性（性別・学年） 4
２　「こどもの権利」を知っているか 4
３　「こどもの権利」の内容について 6
４　自己肯定感（自分のことが好き） 8
５　自分がやりたいことができているか 9
６　自分の気持ちを伝えることができるか 10
７　家庭・学校・まわりの人との関わり 11
８　放課後・休日に安心してすごせる場所 13
９　困ったときに相談できる人 14
１０　「こどもの権利」が守られるために必要なこと 15
Ⅲ　自由記述（その他回答）まとめ 16
Ⅳ　調査票 17

Ⅰ　調査概要

１　調査の目的

流山市では、「こどもにやさしいまちづくり」を推進するために、「（仮称）流山市こどもの権利条例」の制定をめざしています。

本調査は、市内に住んでいる・通学しているこどもを対象に、こどもの権利の認知度や現在のこどもの状況などを把握し、こどもの声を条例づくりに反映するために実施しました。

調査結果は、以下に活用していきます。

・「（仮称）流山市こどもの権利条例」の制定に向けた基礎資料

・条例制定後の効果検証のための基礎資料

・「第２期こども計画」の策定に向けた参考資料

２　調査の対象者・期間・方法・回答状況

対象者：流山市内の小・中・高等学校に在籍する小学４年生～高校３年生

（小学校：公立１９校、私立１校　中学校：公立１０校　高校：公立５校）

期間：令和８年６月８日（月）～７月２４日（金）

方法：Ｇｏｏｇｌｅフォームによるウェブ回答

有効回答数：10,281 件

区分	回答者数(a)	対象者数(b)	回答率(a/b)	区分	回答者数(a)	対象者数(b)	回答率(a/b)	区分	回答者数	対象者数	回答率
小4	1,926	2,521	76.4%	中1	1,389	1,842	75.4%	高1	257	－	－
小5	1,787	2,505	71.3%	中2	1,414	1,838	76.9%	高2	340	－	－
小6	1,917	2,416	79.3%	中3	1,144	1,801	63.5%	高3	94	－	－
計	**5,630**	**7,442**	**75.7%**	**計**	**3,947**	**5,481**	**72.0%**	**計**	**691**	－	－
回答者数合計　10,281 人											

※ 小・中学生は授業やＨＲの一環でアンケートを実施しています。

※ 高校生は、実施方法が学校ごとに異なるため、対象者数及び回答率は「―」と記載しています。

※ 「回答者数合計」には、学年が無回答の 13 人を含んでいます。

３　報告書の見方

・回答結果の割合「%」は、有効回答数に対するそれぞれの回答数の割合を、小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、合計値が 100.0%にならない場合があります。

・複数回答（いくつでも選べる設問）の場合、回答は設問ごとの有効回答数に対する割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

・図表中の「ｎ」は、集計対象者数を表しています。

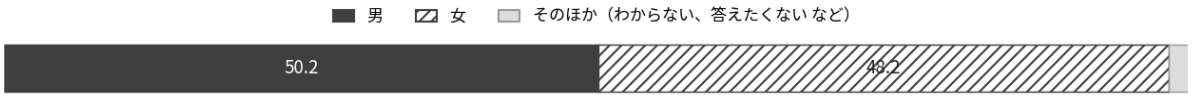
・自由記述の回答は、内容ごとに分類し件数をまとめたものを掲載しています。個人が特定される可能性のある表現は、要約・一般化しています。

Ⅱ　アンケート調査結果

1　回答者の属性（性別・学年）

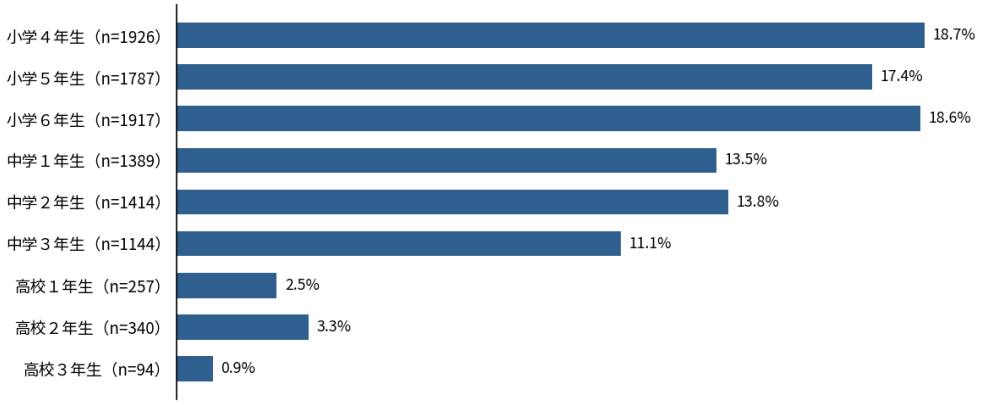
問１　あなたのせいべつを教えてください（１つ選ぶ）

全体では、「男」と回答した割合が 50.2%、「女」が 48.2%、「そのほか（わからない、答えたくない など）」が 1.7%となっています。



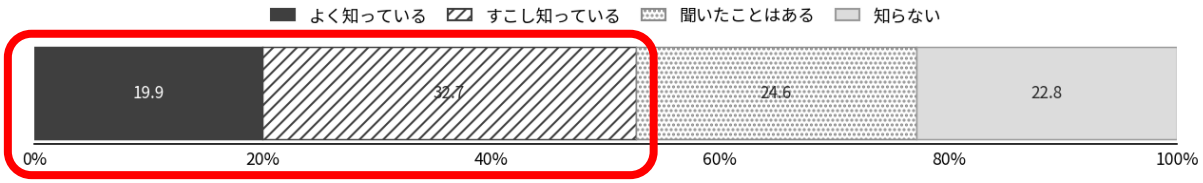
問２　あなたは、何年生ですか（１つ選ぶ）

小学４年生～中学３年生からの回答が中心となっており、小中学生では学年ごとに約 1,100～1,900 件の回答が得られました。



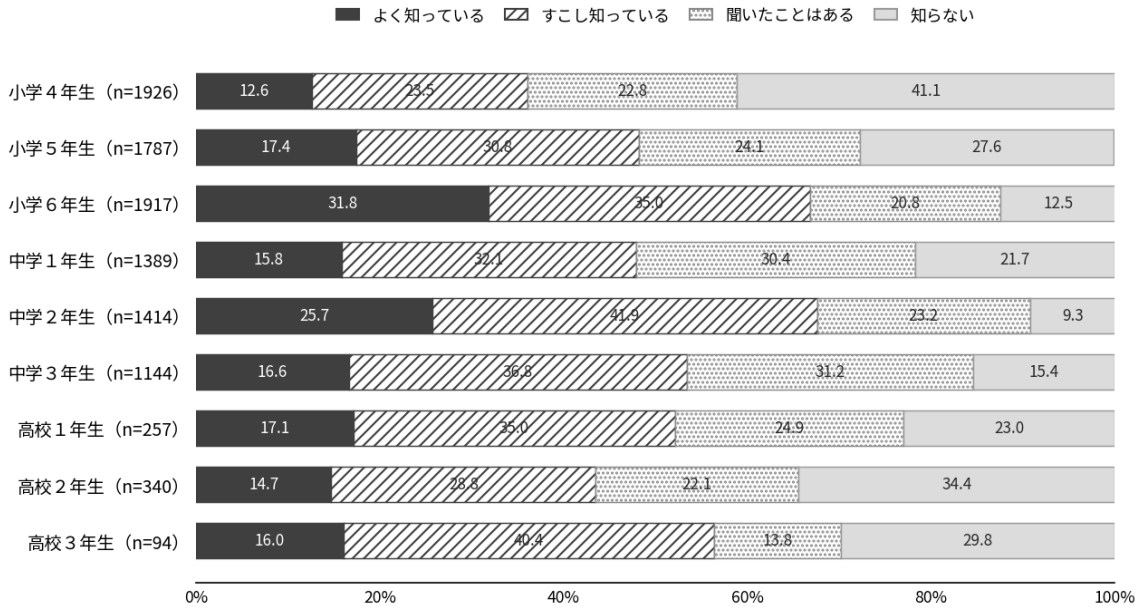
2　「こどもの権利」があることを知っているか

全体では、「こどもの権利」があることを知っている（「よく知っている」＋「すこし知っている」）と回答した割合は 、52.6%でした。一方、「聞いたことはある」は 24.6%、「知らない」が 22.8%となっています。

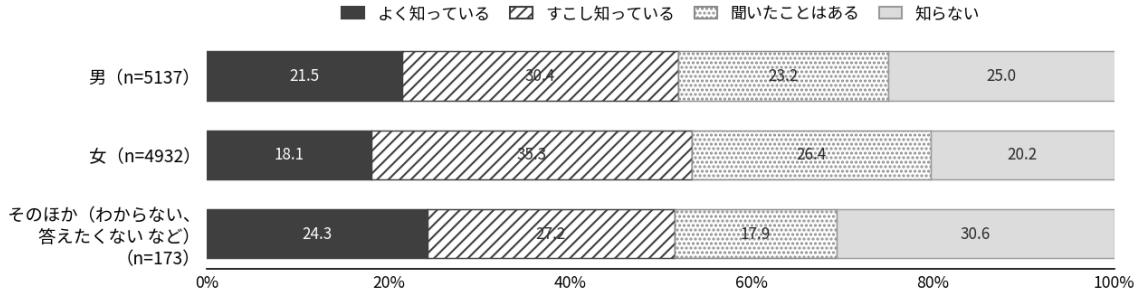


学年別×こどもの権利の認知度

学年別にみると、小学６年生（66.8%）や中学２年生（67.6%）で「知っている」（「よく知っている」＋「すこし知っている」）と回答した割合が高くなっている一方、小学４年生（36.1%）や中学１年生（47.9%）ではやや低くなるなど、学年により差がみられます。



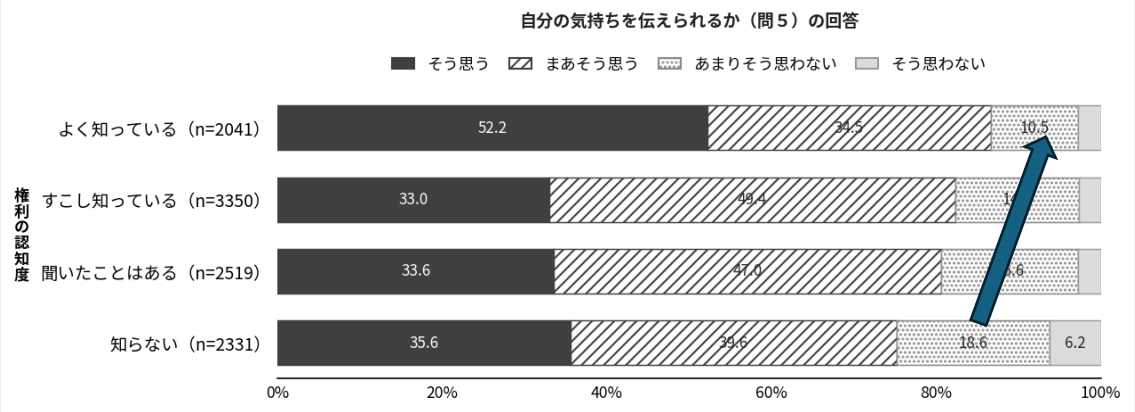
性別×こどもの権利の認知度



ポイント①　「こどもの権利を知っていますか」×「問５ 自分の気持ちや言いたいことを伝えることができていますか」（「そう思う」＋「まあそう思う」）

「こどもの権利」を「よく知っている」と回答したこどものうち 86.7%が、「自分の気持ちや言いたいことを伝えることができている」（「そう思う」＋「まあそう思う」）と回答しました。

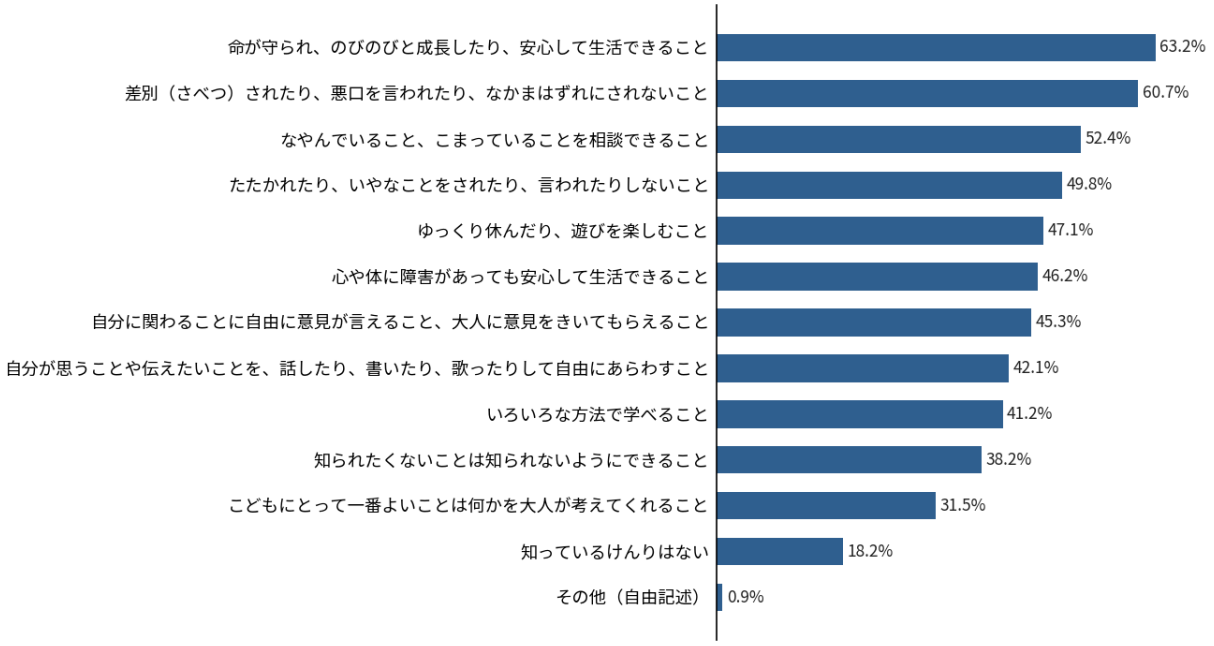
一方、「知らない」と回答したこどもでは 75.2%でした。



３　「こどもの権利」の内容について

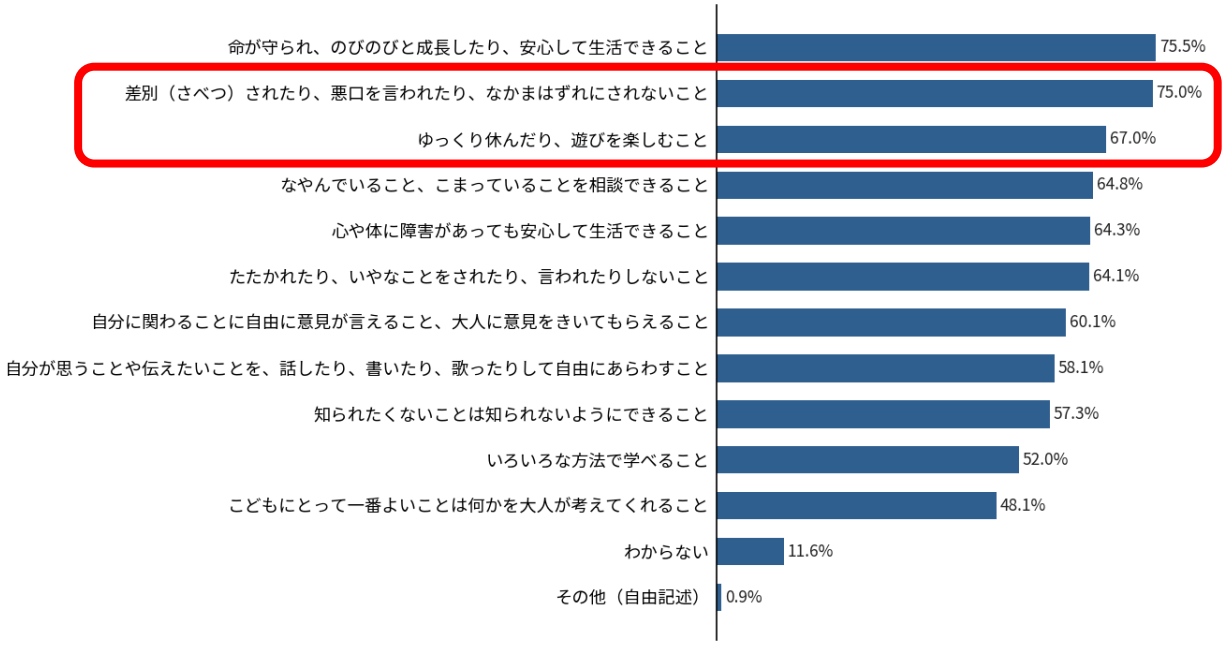
問１０　知っている「こどもの権利」（あてはまるものすべて）

「こどものけんりについて知っているものをすべてを教えてください」とたずねたところ、「命が守られ、のびのびと成長したり、安心して生活できること」と回答した割合が最も高く、次いで「差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと」、「なやんでいること、こまっていることを相談できること」の順となりました。



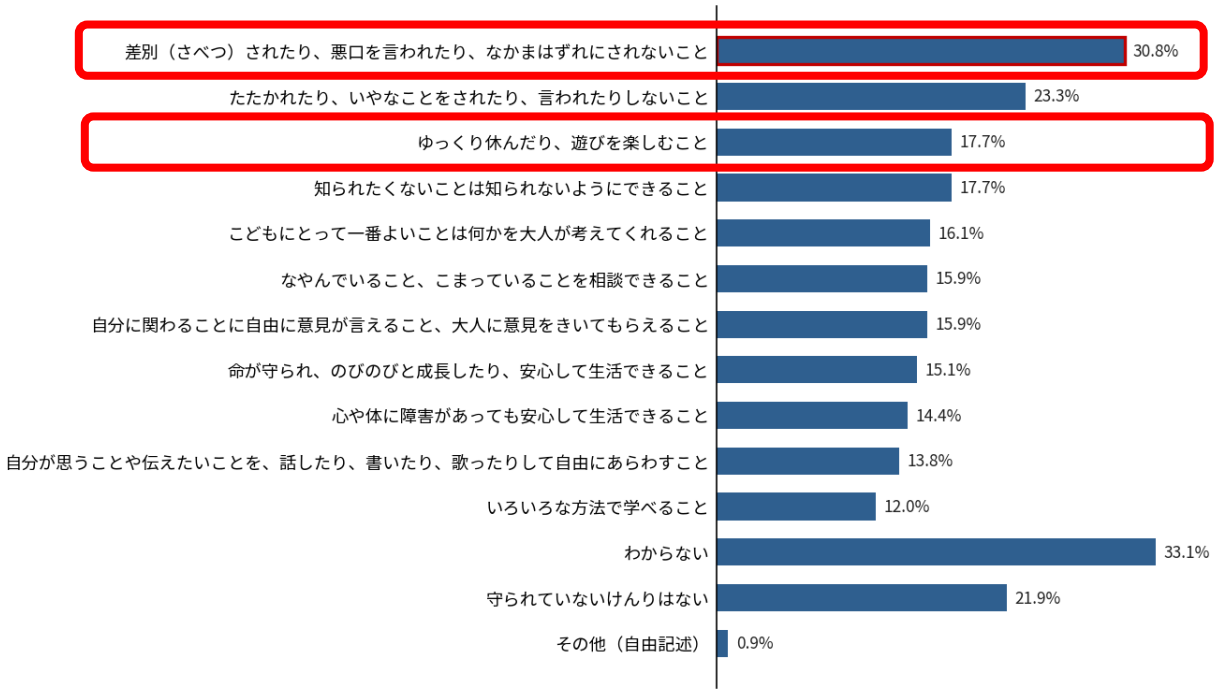
問１１　大切だと思う「こどもの権利」（あてはまるものすべて）

「あなたが大切だと思うこどものけんりをすべて教えてください」とたずねたところ、「命が守られ、のびのびと成長したり、安心して生活できること」と回答した割合が最も高く、次いで「差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと」、「ゆっくり休んだり、遊びを楽しむこと」の順となりました。「わからない」は 11.6%でした。



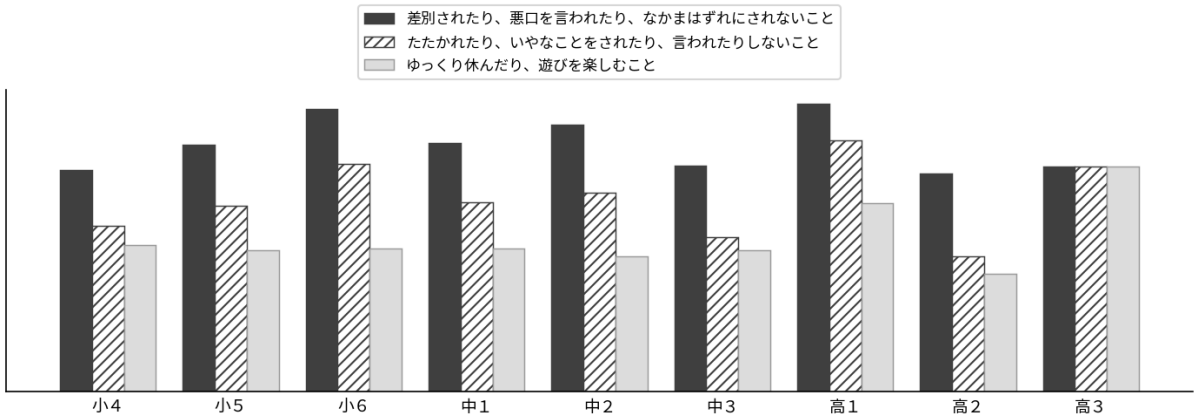
問１２　守られていないことがあると感じる「こどもの権利」（あてはまるものすべて）

「あなたやあなたの周りで、守られていないことがあると感じるこどものけんりをすべて教えてください」とたずねたところ、「差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと」と回答した割合が最も高く、次いで「たたかれたり、いやなことをされたり、言われたりしないこと」、「ゆっくり休んだり、遊びを楽しむこと」の順となりました。「守られていないけんりはない」は 21.9%、「わからない」は 33.1%でした。



学年別×守られていないと感じるこどもの権利（上位３項目）

学年別に、守られていないと感じる権利の上位３項目をみると、いずれの学年でも「差別されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと」と回答した割合が最も高くなっています。



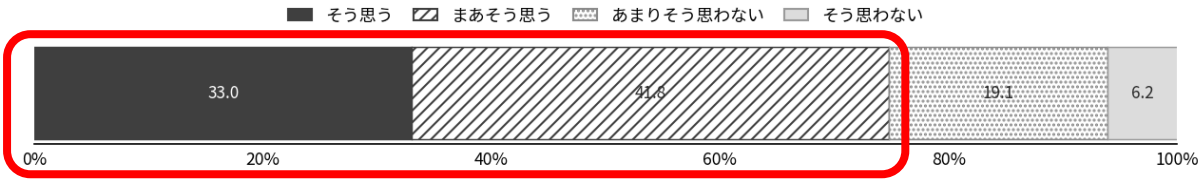
ポイント②　「問 11 大切だと思うこどもの権利」×「問 12 守られていないと感じる権利」

「大切だと思うこどもの権利」と「守られていないと感じるこどもの権利」について、それぞれあてはまると回答があった上位３項目を比較すると、「差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと」、「ゆっくり遊んだり、遊びを楽しむこと」の同じ項目が２つ入る結果となりました。

4　自己肯定感（自分のことが好き）

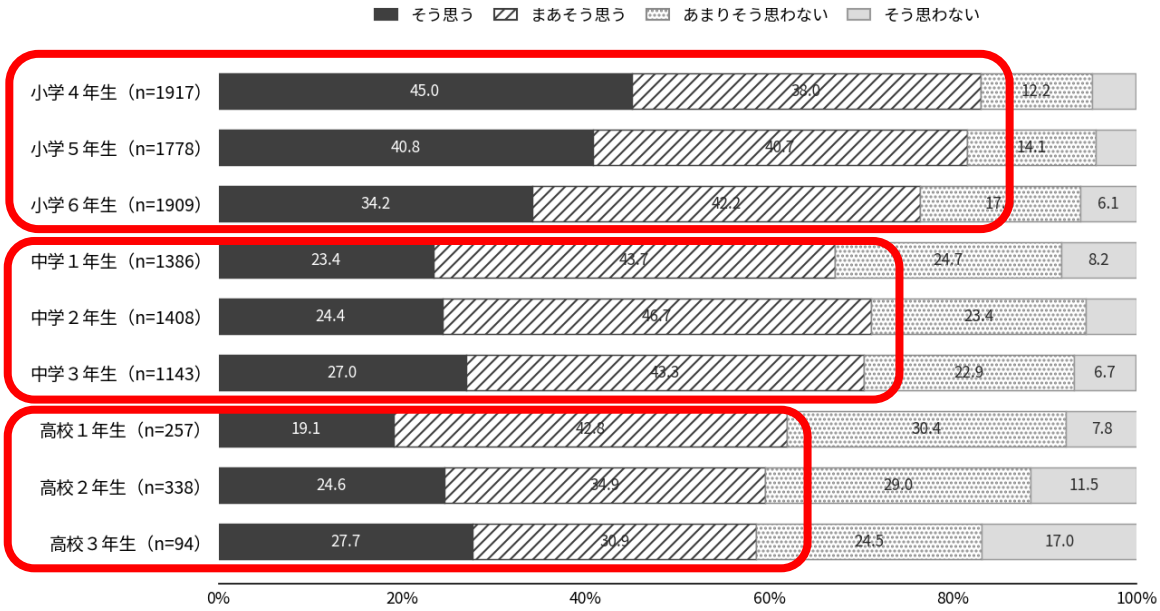
問３　あなたは、自分のことが好きですか

全体では、「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、あわせて 74.8%でした。



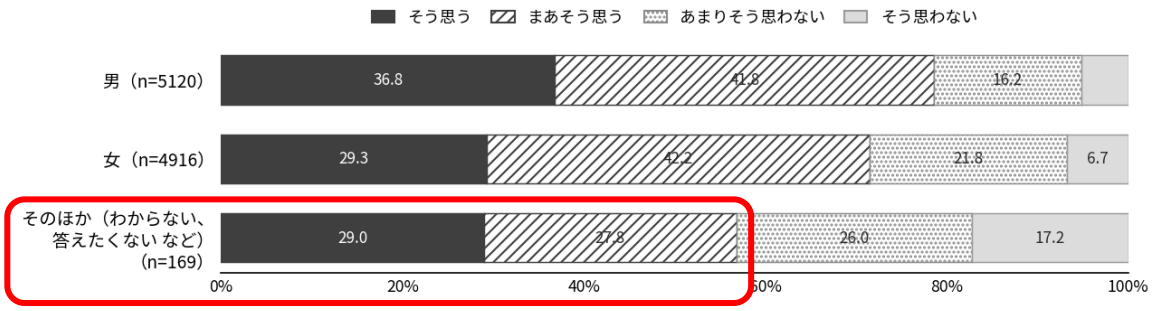
学年別×自分のことが好き（「そう思う」＋「まあそう思う」）

学年別にみると、小学４年生では「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は 83.0%であるのに対し、学年が上がるにつれて概ね徐々に低下する傾向があり、中学３年生では 70.3%、高校３年生では 58.6%となりました。



性別×自分のことが好き（「そう思う」＋「まあそう思う」）

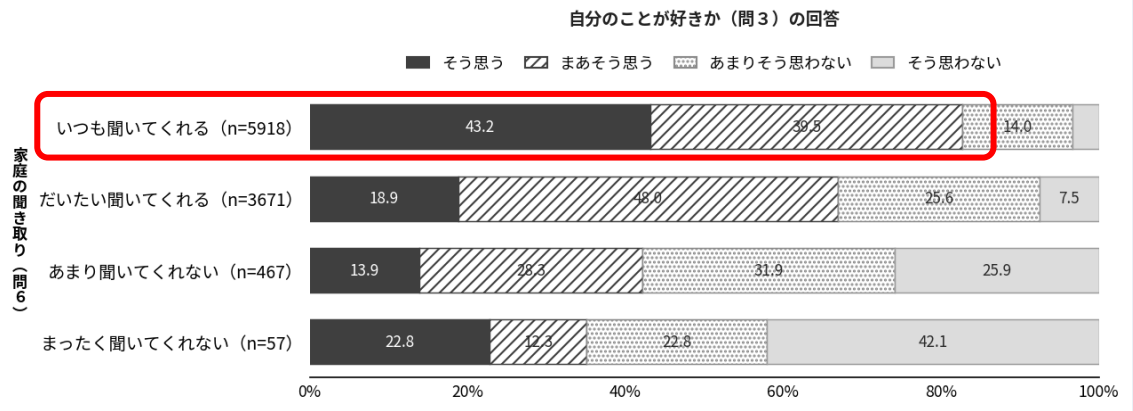
性別でみると、「男」や「女」と回答したこどもと比べて、「そのほか（わからない、答えたくないなど）」と回答したこども（169 人）では、「自分のことが好き」（「そう思う」＋「まあそう思う」）と回答した割合が、56.8%と低くなっています。



ポイント③　「問６ 家ではあなたの意見を聞いてくれますか」×「問３ 自分のことが好きですか」（「そう思う」＋「まあそう思う」）

家庭で「いつも意見を聞いてくれる」と回答したこどものうち 82.7%が「自分のことが好き」（「そう思う」＋「まあそう思う」）と回答しました。

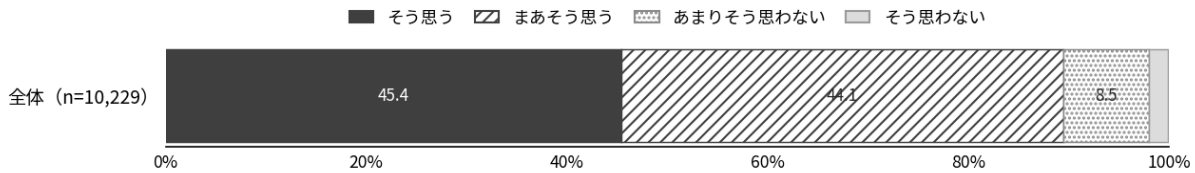
一方、「まったく聞いてくれない」と回答したこどもでは 35.1%でした。



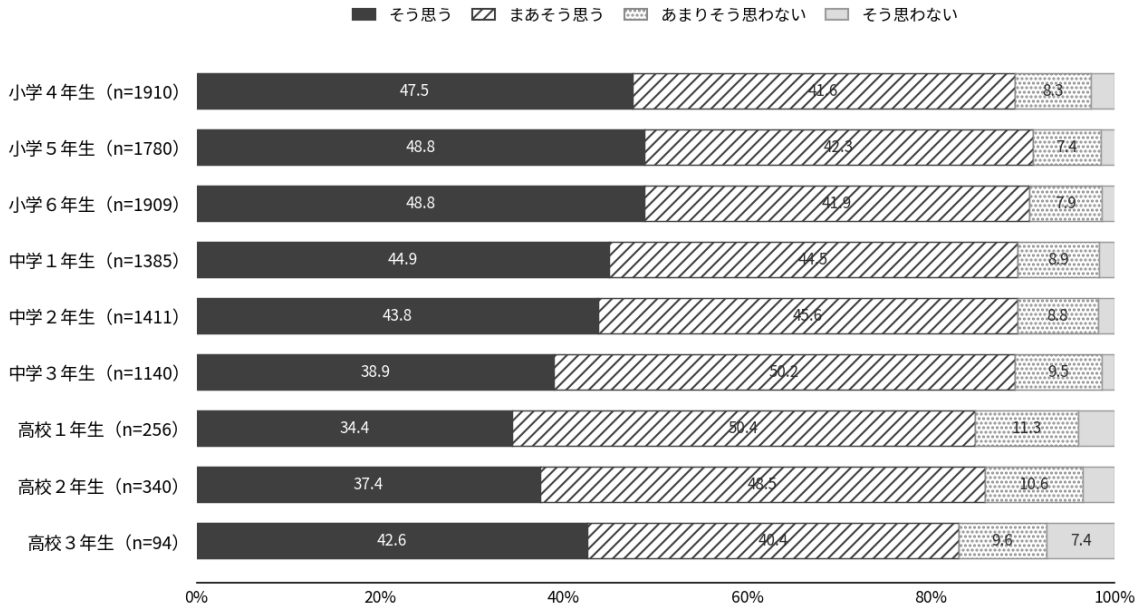
5　自分がやりたいことができているか

問４　あなたは、自分がやりたいことができていると思いますか

全体では、「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、あわせて 89.5%でした。

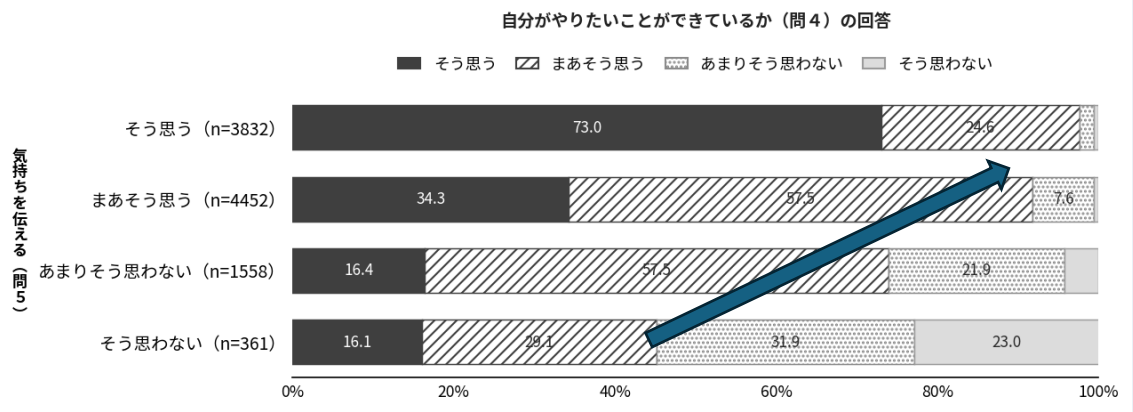


学年別×自分がやりたいことができているか



ポイント④　「問５ 自分の気持ちや言いたいことを伝えることができていますか」×「問４ 自分のやりたいことができていると思いますか」

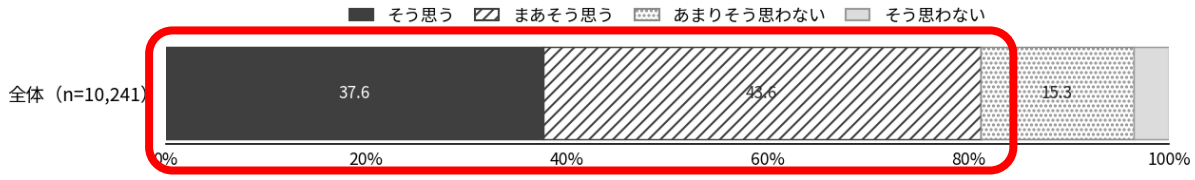
自分の気持ちを伝えることが「できている」（「そう思う」＋「まあそう思う」）と回答したこどもほど、「自分がやりたいことができている」と回答する割合が高くなる傾向がみられました。



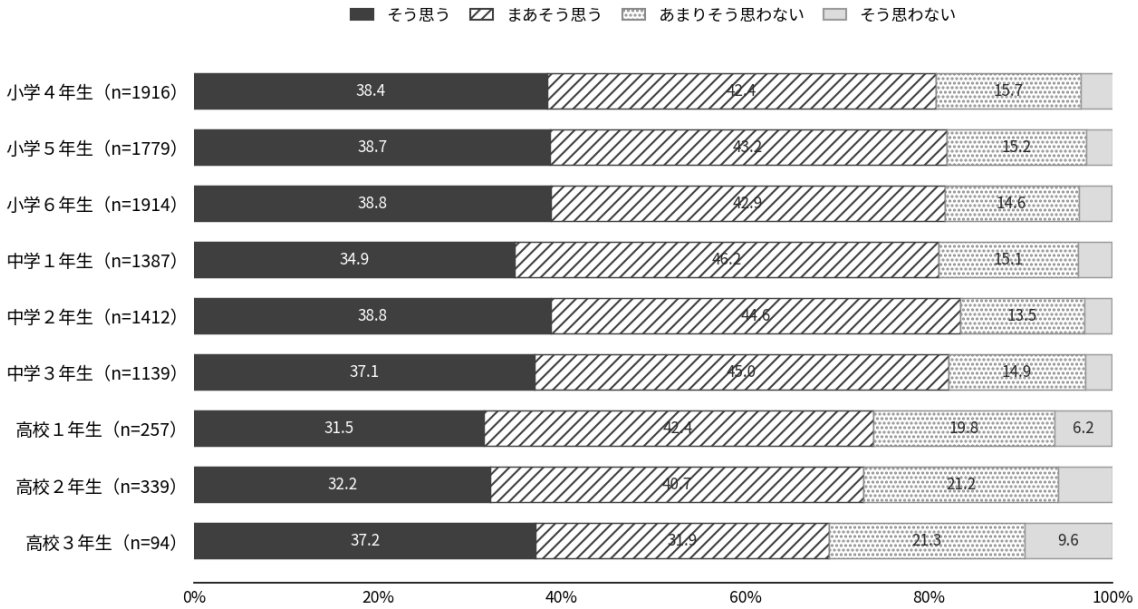
6　自分の気持ちを伝えることができるか

問５　あなたは、自分の気持ちや言いたいことを伝えることができていますか

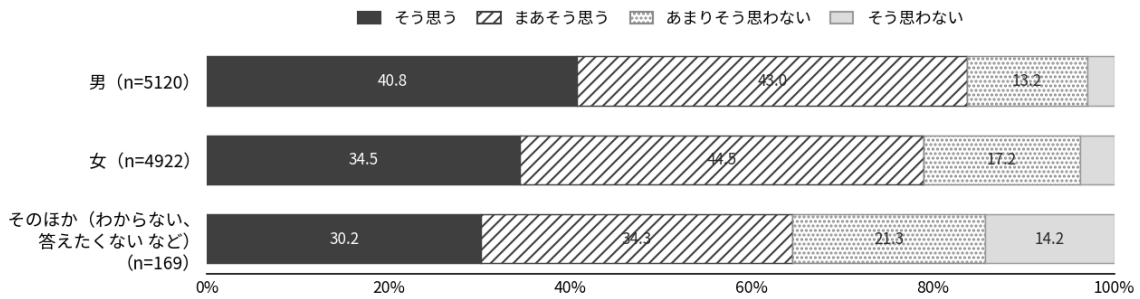
全体では、「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、あわせて 81.2%でした。



学年別×自分の気持ちを伝えられるか



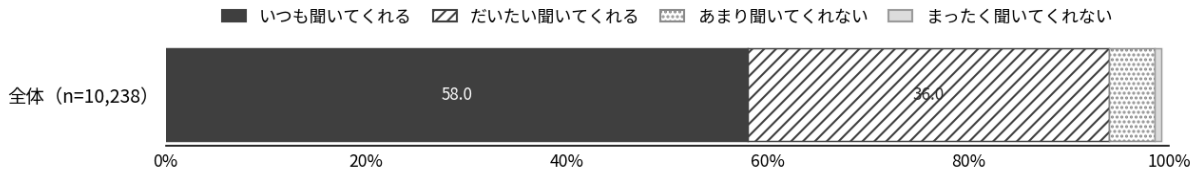
性別×自分の気持ちを伝えられるか



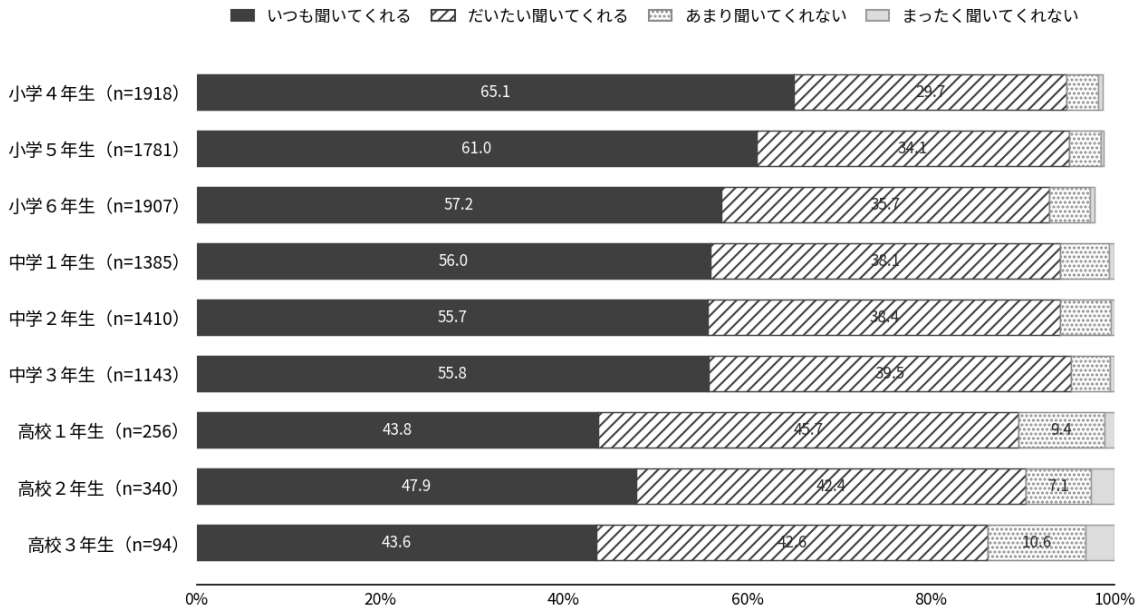
7　家庭・学校・まわりの人との関わり

問６　あなたがくらす家では、あなたの意見を聞いてくれますか

家庭で「いつも」、「だいたい」聞いてもらえていると回答した割合は、あわせて 94.0%でした。

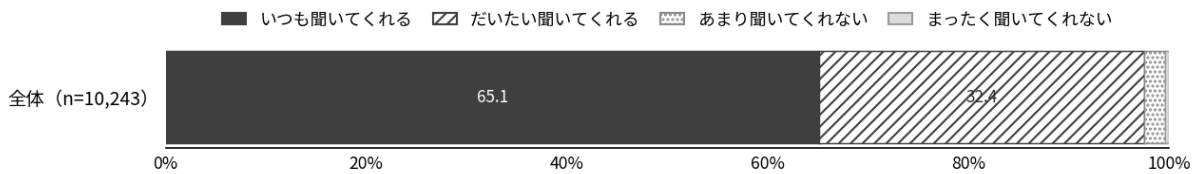


学年別×家で意見を聞いてくれる

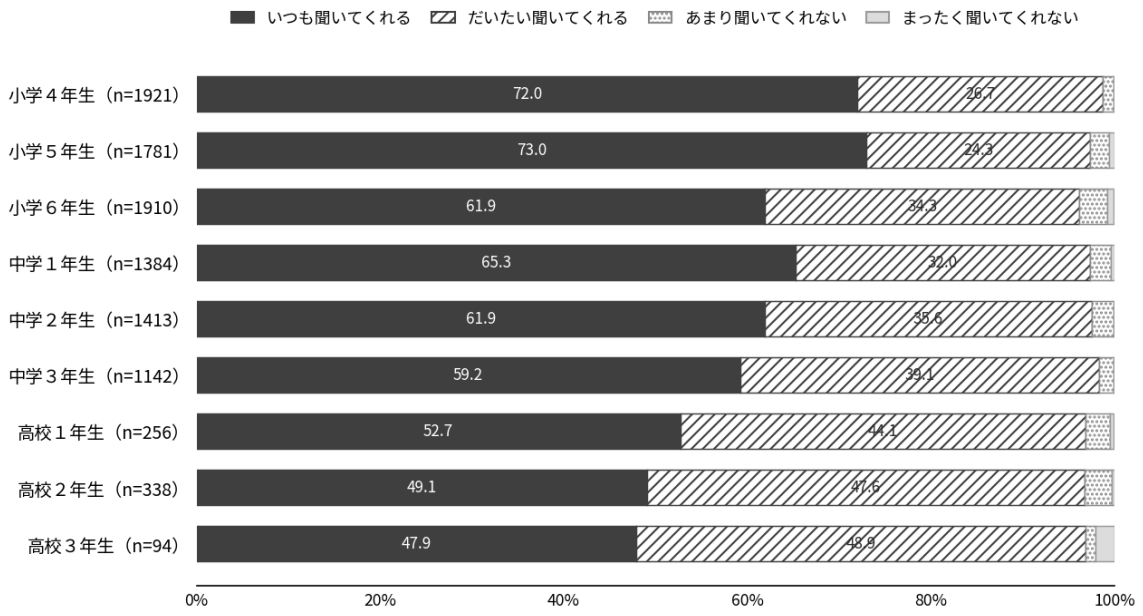


問７　学校では、先生に話したいことがあるとき、先生はあなたの話を聞いてくれますか

学校の先生が「いつも」、「だいたい」話を聞いてくれると回答した割合は、あわせて 97.5%でした。

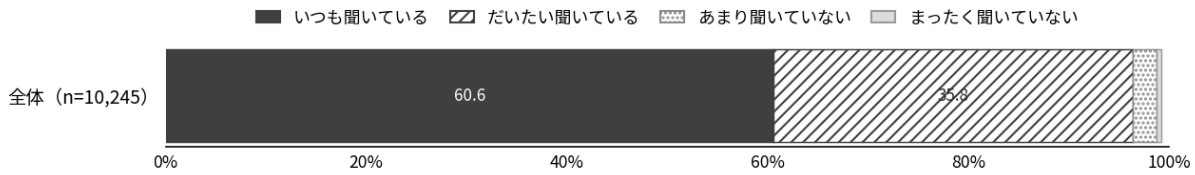


学年別×学校の先生が話を聞いてくれる

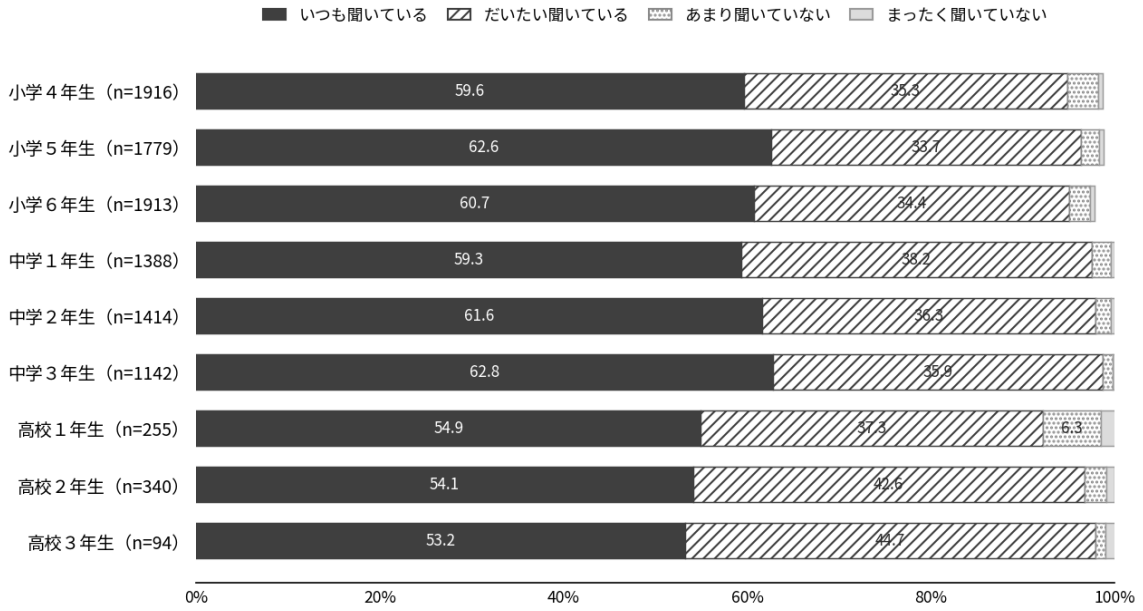


問８　あなたは、まわりの人の意見や気持ちを聞いていますか

まわりの人の意見や気持ちを「いつも」、「だいたい」聞いていると回答した割合は、あわせて96.4%と高い割合でした。



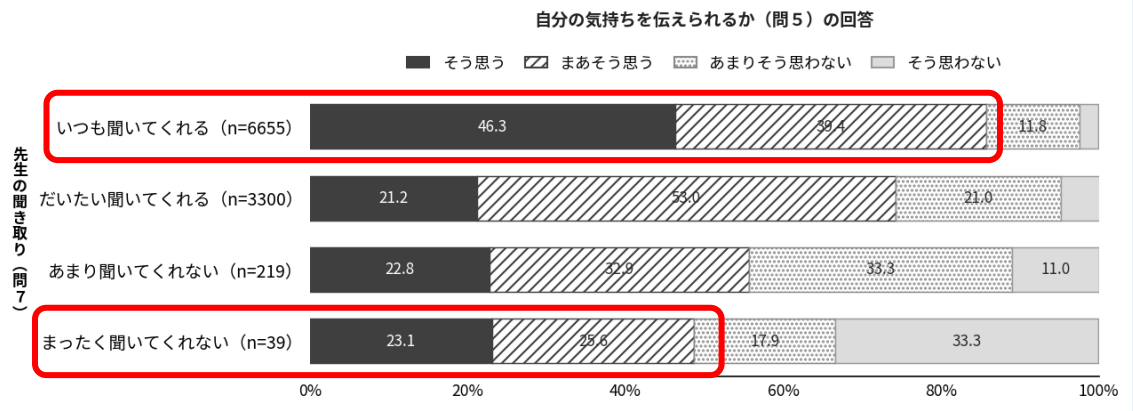
学年別×まわりの人の意見や気持ちを聞いているか



ポイント⑤　「問７ 学校では先生に話したいことがあるとき、先生はあなたの話を聞いてくれますか」×「問５ 自分の気持ちや言いたいことを伝えることができていますか」

学校の先生が話を「いつも聞いてくれる」と回答したこどものうち 85.7%が、自分の気持ちを伝えることが「できている」（「そう思う」+「まあそう思う」）と回答しました。

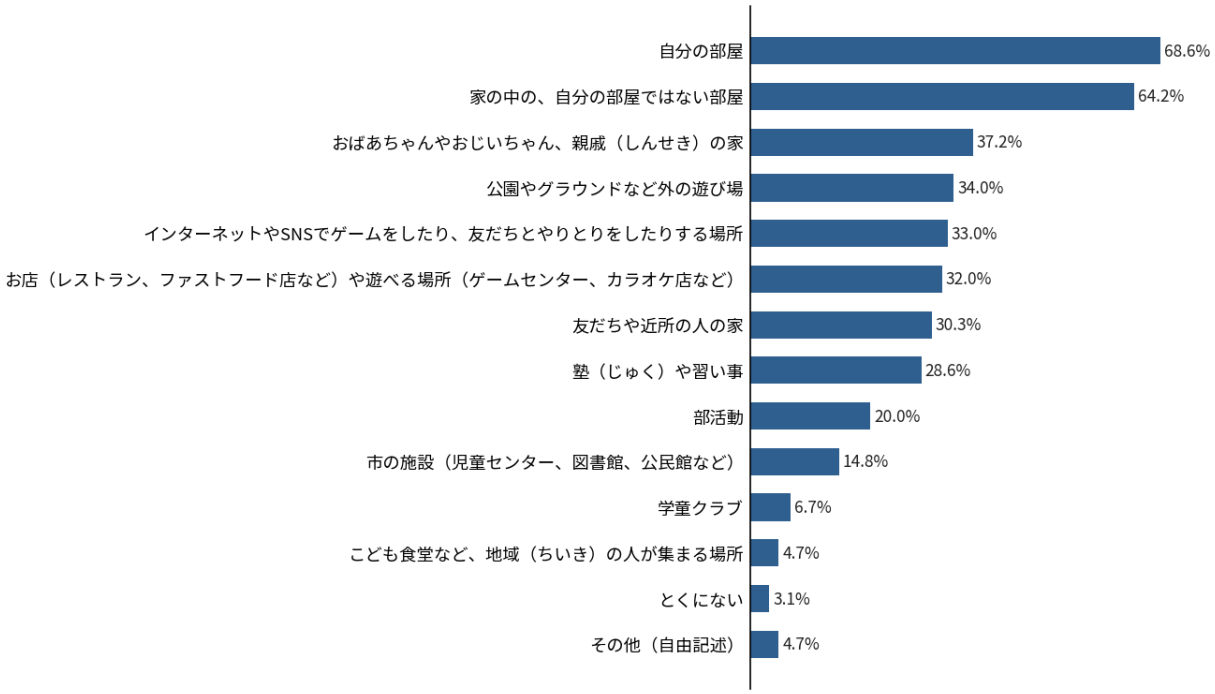
一方、先生が「まったく聞いてくれない」と回答したこどもでは 48.7%でした。



8　放課後・休日に安心してすごせる場所

問９　安心して気持ちよくすごせる場所（いくつでも）

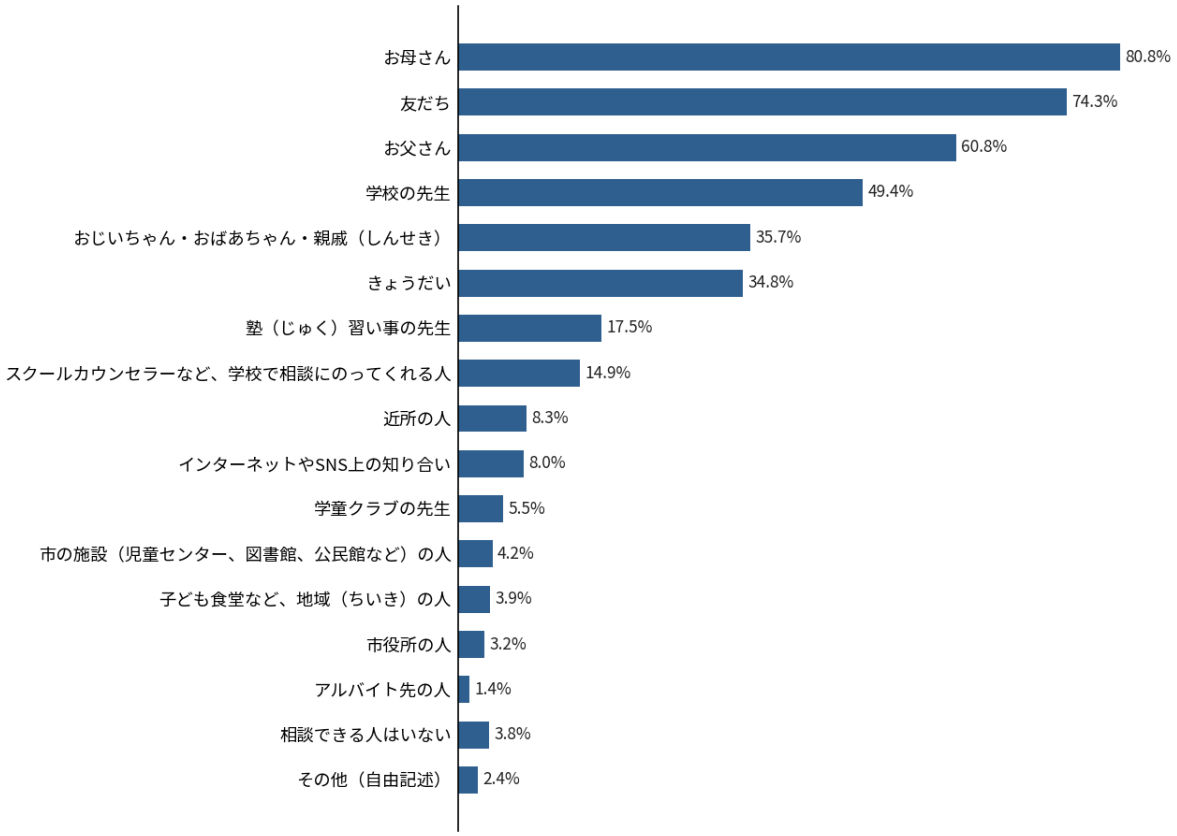
全体では、「自分の部屋」と回答した割合が最も高く、次いで「家の中の、自分の部屋ではない部屋」、「おばあちゃんやおじいちゃん、親戚（しんせき）の家」の順となりました。「とくにない」は 3.1%でした。



９　困ったときに相談できる人

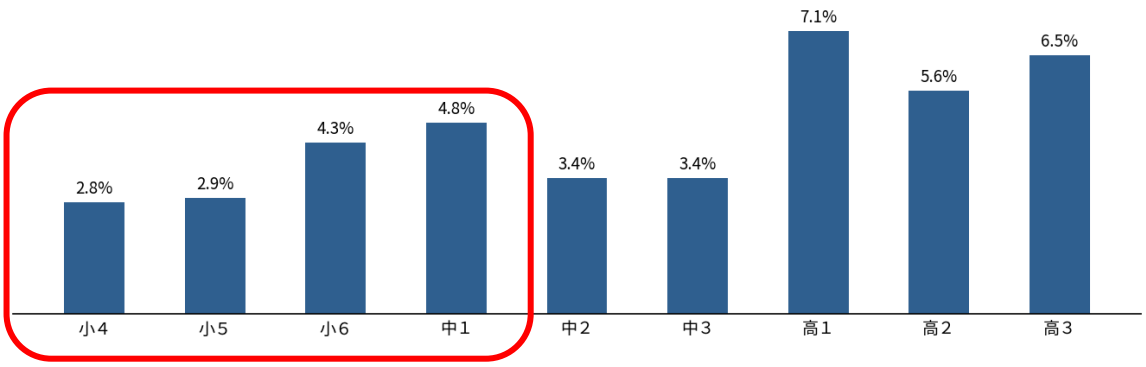
問１３　こまっていることや、つらいと感じることがあるとき、相談できる人（あてはまるものすべて）

全体では、「お母さん」と回答した割合が最も高く、次いで「友だち」、「お父さん」の順となりました。「相談できる人はいない」は 3.8%でした。



学年別×「相談できる人はいない」の割合

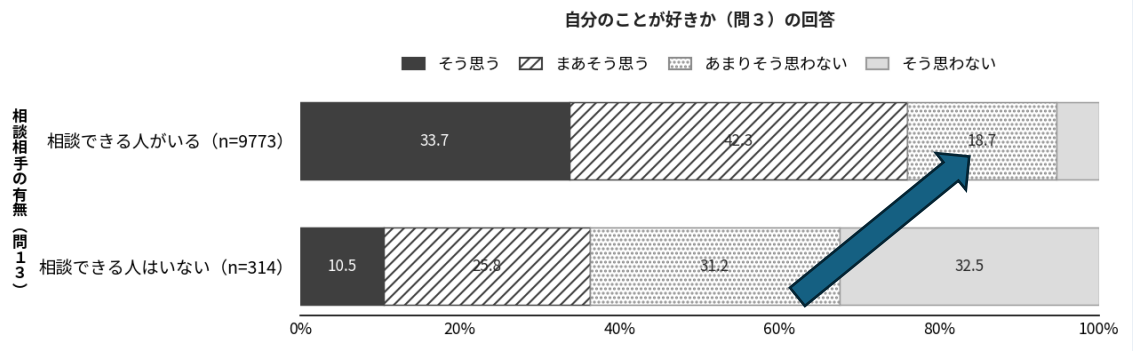
学年別にみると、小学生（４年）から中学生（１年）へ学年が上がるにつれて、「相談できる人はいない」と回答した割合が徐々に高くなっています。



※高校生は参考値

ポイント⑥　「問 13 こまっていることや、つらいと感じることがあるとき、相談できる人はいますか」（あてはまるものすべて）×「問３ 自分のことが好きですか」（「そう思う」＋「まあそう思う」）

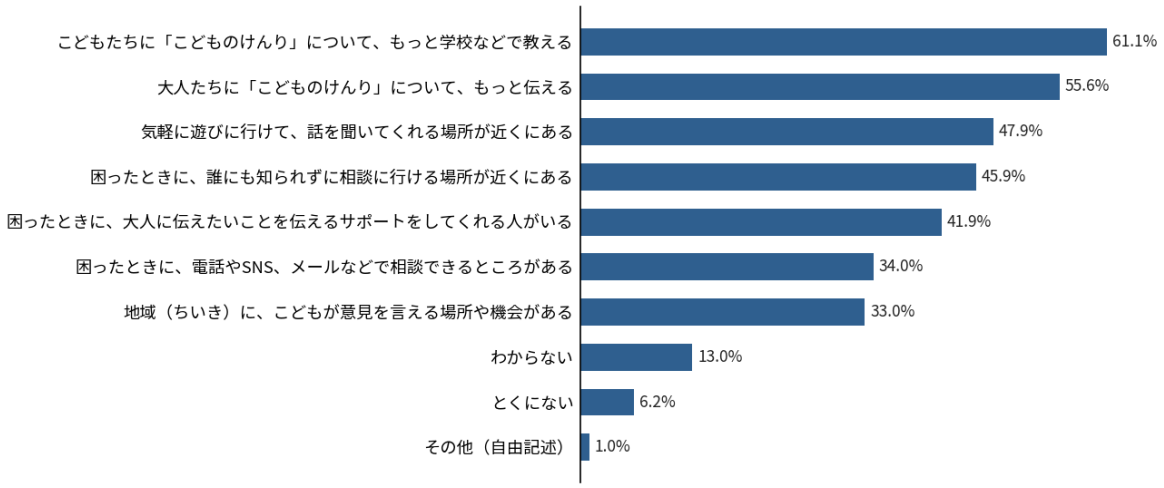
相談できる相手を具体的に回答したこどものうち 76.0%が「自分のことが好き」（「そう思う」＋「まあそう思う」）と回答した一方、「相談できる相手はいない」と回答したこどもでは 36.3%でした。



１０　「こどもの権利」が守られるために必要なこと

問１４　「こどものけんり」が守られるために必要なこと（いくつでも）

全体では、「こどもたちに「こどものけんり」について、もっと学校などで教える」と回答した割合が最も高く、次いで「大人たちに「こどものけんり」について、もっと伝える」、「気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場所が近くにある」の順となりました。



ポイント⑦　こどもたちは「学校でもっと教えてほしい」、「大人にもっと伝えてほしい」と考えている

「こどもたちに『こどものけんり』について、もっと学校などで教える」と回答した割合は 61.1%と最も高く、「大人たちに『こどものけんり』について、もっと伝える」が 55.6%と次に高い割合となりました。

Ⅲ　自由記述（その他回答）まとめ

ここでは、各設問の選択肢に含まれない自由記述について、内容ごとに分類し、件数の多いものを中心にまとめました。

問９　あなたは、放課後や学校がお休みの日に、安心して気持ちよくすごせる場所がありますか

分類	件数（件）
家の中の特定の場所（トイレ・寝室・ベッド・リビングなど）	110
スポーツ・運動系の場所（野球・サッカー・プール・習い事など）	60
自然・屋外（公園・庭・ベランダ・外など）	51
お店・商業施設（ショッピングモール・ゲームセンターなど）	22
ゲーム・動画・インターネット	18
秘密にしたい	1
その他の個別記述（放課後デイサービス・電車の中など）	223

問１３　あなたが、こまっていることやつらいと感じることがあるとき、相談できる人はいますか

分類	件数（件）
ＡＩ・チャットボット（ＣｈａｔＧＰＴ など）	48
相談できる人・相談したい人はいない／したくない	44
特定の友人・親友	28
先生・習い事やデイサービスの人など、その他の大人	22
自分ひとりで解決する	16
いとこ・親戚	14
ペット・動物	13
その他の個別記述（わからない・全員など）	56

問１４　あなたは、「こどものけんり」が守られるために、どんなことが必要だと思いますか

分類	件数（件）
相談体制・相談窓口の充実（相談窓口、スクールカウンセラーなど）	13
周知・広報の工夫（ポスター、ＳＮＳ、イベントなど）	11
制度化・法律や条例による位置づけ	8
いじめ防止・安心して過ごせる環境づくり	8
その他の個別記述（こども会議の開催、一人になれる場所など）	64

Ⅳ　調査票

（流山市「こどもの権利に関するアンケート」設問一覧）

問１　あなたのせいべつを教えてください（１つ選ぶ）

・男　・女　・そのほか（わからない、答えたくない など）

問２　あなたは、何年生ですか（１つ選ぶ）

・小学４年生　・小学５年生　・小学６年生　・中学１年生　・中学２年生　・中学３年生　・高校１年生　・高校２年生　・高校３年生

問３　あなたは、自分のことが好きですか（１つ選ぶ）

・そう思う　・まあそう思う　・あまりそう思わない　・そう思わない

問４　あなたは、自分がやりたいことができていると思いますか（１つ選ぶ）

・そう思う　・まあそう思う　・あまりそう思わない　・そう思わない

問５　あなたは、自分の気持ちや言いたいことを伝えることができていますか（１つ選ぶ）

・そう思う　・まあそう思う　・あまりそう思わない　・そう思わない

問６　あなたがくらす家では、あなたの意見を聞いてくれますか（１つ選ぶ）

・いつも聞いてくれる　・だいたい聞いてくれる　・あまり聞いてくれない　・まったく聞いてくれない

問７　あなたが通う学校では、先生に話したいことがあるとき、先生はあなたの話を聞いてくれますか（１つ選ぶ）

・いつも聞いてくれる　・だいたい聞いてくれる　・あまり聞いてくれない　・まったく聞いてくれない

問８　あなたは、まわりの人の意見や気持ちを聞いていますか（１つ選ぶ）

・いつも聞いている　・だいたい聞いている　・あまり聞いていない　・まったく聞いていない

問９　あなたは、放課後や学校がお休みの日に、安心して気持ちよくすごせる場所がありますか（いくつでも）

・自分の部屋　・家の中の、自分の部屋ではない部屋　・おばあちゃんやおじいちゃん、親戚（しんせき）の家　・公園やグラウンドなど外の遊び場　・インターネットやＳＮＳでゲームをしたり、友だちとやりとりをしたりする場所　・お店（レストラン、ファストフード店など）や遊べる場所（ゲームセンター、カラオケ店など）　・友だちや近所の人の家　・塾（じゅく）や習い事　・部活動　・市の施設（児童センター、図書館、公民館など）　・学童クラブ　・こども食堂など、地域（ちいき）の人が集まる場所　・とくにない

－　あなたは、「こどものけんり」があることを知っていますか

・よく知っている　・すこし知っている　・聞いたことはある　・知らない

問１０　「こどものけんり」について知っているものをすべて教えてください

・命が守られ、のびのびと成長したり、安心して生活できること　・差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと　・なやんでいること、こまっていることを相談できること　・たたかれたり、いやなことをされたり、言われたりしないこと　・ゆっくり休んだり、遊びを楽しむこと　・心や体に障害があっても安心して生活できること　・自分に関わることに自由に意見が言えること、大人に意見をきいてもらえること　・自分が思うことや伝えたいことを、話したり、書いたり、歌っ

たりして自由にあらわすこと　・いろいろな方法で学べること　・知られたくないことは知られないようにできること　・こどもにとって一番よいことは何かを大人が考えてくれること　・知っているけんりはない

問１１　あなたが大切だと思う「こどものけんり」をすべて教えてください

・差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと　・命が守られ、のびのびと成長したり、安心して生活できること　・ゆっくり休んだり、遊びを楽しむこと　・なやんでいること、こまっていることを相談できること　・たたかれたり、いやなことをされたり、言われたりしないこと　・心や体に障害があっても安心して生活できること　・自分に関わることに自由に意見が言えること、大人に意見をきいてもらえること　・自分が思うことや伝えたいことを、話したり、書いたり、歌ったりして自由にあらわすこと　・知られたくないことは知られないようにできること　・いろいろな方法で学べること　・こどもにとって一番よいことは何かを大人が考えてくれること　・わからない

問１２　あなたやあなたの周りで、守られていないことがあると感じる「こどものけんり」をすべて教えてください

・差別（さべつ）されたり、悪口を言われたり、なかまはずれにされないこと　・たたかれたり、いやなことをされたり、言われたりしないこと　・ゆっくり休んだり、遊びを楽しむこと　・知られたくないことは知られないようにできること　・こどもにとって一番よいことは何かを大人が考えてくれること　・なやんでいること、こまっていることを相談できること　・自分に関わることに自由に意見が言えること、大人に意見をきいてもらえること　・命が守られ、のびのびと成長したり、安心して生活できること　・心や体に障害があっても安心して生活できること　・自分が思うことや伝えたいことを、話したり、書いたり、歌ったりして自由にあらわすこと　・いろいろな方法で学べること　・わからない　・守られていないけんりはない

問１３　あなたが、こまっていることや、つらいと感じることがあるとき、相談できる人はいますか（あてはまるものすべて）

・お母さん　・友だち　・お父さん　・学校の先生　・おじいちゃん・おばあちゃん・親戚（しんせき）　・きょうだい　・塾（じゅく）習い事の先生　・スクールカウンセラーなど、学校で相談にのってくれる人　・近所の人　・インターネットやＳＮＳ上の知り合い　・学童クラブの先生　・市の施設（児童センター、図書館、公民館など）の人　・子ども食堂など、地域（ちいき）の人　・市役所の人　・アルバイト先の人　・相談できる人はいない

問１４　あなたは、「こどものけんり」が守られるために、どんなことが必要だと思いますか（いくつでも）

・こどもたちに「こどものけんり」について、もっと学校などで教える　・大人たちに「こどものけんり」について、もっと伝える　・気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場所が近くにある　・困ったときに、誰にも知られずに相談に行ける場所が近くにある　・困ったときに、大人に伝えたいことを伝えるサポートをしてくれる人がいる　・困ったときに、電話やＳＮＳ、メールなどで相談できるところがある　・地域（ちいき）に、こどもが意見を言える場所や機会がある　・わからない　・とくにない